



太田博史教授略歴・主要業績目録

(Citation)

国際協力論集, 23(1):95-102

(Issue Date)

2015-07

(Resource Type)

departmental bulletin paper

(Version)

Version of Record

(JaLCD0I)

<https://doi.org/10.24546/81009095>

(URL)

<https://hdl.handle.net/20.500.14094/81009095>



太田 博史 教授 略歴

学歴

1968 年 3 月	兵庫県立尼崎北高等学校卒業
同 4 月	神戸商科大学商経学部管理科学科入学
1972 年 3 月	同上 卒業
同 4 月	神戸商科大学大学院修士課程経済学研究科入学
1974 年 3 月	同上 修了
同 4 月	神戸商科大学大学院博士課程経済学研究科入学
同 6 月	同上 退学
同 7 月	ニュー・サウス・ウェールズ大学大学院博士課程経済学研究科入学
1978 年 10 月	同上 修了 Ph. D (in Economics)

職歴

1978 年 4 月	神戸商科大学附置経済研究所助手
1983 年 10 月	神戸商科大学商経学部国際商学科助教授
1993 年 4 月	同上 教授
1999 年 4 月	神戸大学大学院国際協力研究科教授
2003 年 10 月	神戸大学経済経営研究所教授（兼ねて神戸大学大学院国際協力研究科教授）
2005 年 4 月	神戸大学大学院国際協力研究科教授
2007 年 2 月	神戸大学理事・副学長
2009 年 4 月	神戸大学大学院国際協力研究科教授
2015 年 3 月	神戸大学定年退職
2015 年 4 月	神戸大学名誉教授

1983 年 6 月～ 9 月	ニュー・サウス・ウェールズ大学（豪州）客員研究員
1987 年 9 月～ 12 月	デ・ラサール大学（フィリピン）客員教授
1991 年 10 月～ 12 月	暨南大学（中国）交換教授
1994 年 7 月～ 1995 年 7 月	エセックス大学（英国）客員教授

役職

1996 年 4 月～ 1997 年 3 月	神戸商科大学商経学部国際商学科長
------------------------	------------------

2000 年 4 月～2001 年 9 月	神戸大学大学院国際協力研究科教務委員長	
2001 年 10 月～2003 年 9 月	同上	国際開発政策専攻長
2004 年 1 月～2005 年 12 月	同上	戦略担当研究科長補佐
2005 年 4 月～2006 年 3 月	(財)阪神・淡路大震災記念協会「21 世紀文明研究委員会」第 4 部会 委員	
2006 年 1 月～2007 年 2 月	神戸大学大学院国際協力研究科長	
2009 年 4 月～2011 年 3 月	兵庫国際サマースクール（アジア若者塾）カリキュラム委員長	

太田 博史 教授 主要業績目録

著書

『地域・都市・交通分析のためのミクロ経済学』東洋経済新報社、2002年12月（単著）

共編著

1. *Trade, Policy and International Adjustments*, Academic Press, 1991
2. 『国際調整の経済学』実教出版、1992. 2

分担執筆

高橋基樹、福井清一（編）『経済開発論』第8章「環境と貿易」勁草書房 pp. 161-177、2008. 4（共著）

論文

1. 「競争均衡とコアの理論」修士論文、神戸商科大学、1974（単著）
2. 「集合論的均衡モデルとコア」『星陵台論集』神戸商科大学、1974（単著）
3. “Some Aspects of the Theory of International Trade under Uncertainty,” Ph. D dissertation, University of New South Wales, 1978. 10（単著）
4. “On the Ranking of the Price and Quantity Controls under Uncertainty,” *Journal of International Economics* 8, pp. 543-550, 1978（単著）
5. “The Optimal Level of Exports under Threat of Foreign Import Restriction,” *Canadian Journal of Economics* 11, pp. 720-725, 1978（共著）
6. “Some Implications of Uncertainty in a Small Open Economy,” *Economic Record* 55, pp. 354-358, 1979（共著）.
7. 「国際貿易と不確実性」『創立50周年記念論文集』神戸商科大学、pp. 487-498、1979（単著）
8. 「価格不確実性下の貿易と最適成長」『商大論集』31-2、神戸商科大学、pp. 85-94、1979（単著）
9. 「住民意識構造の解析」『研究年報』15、神戸商科大学経済研究所、pp. 41-61、1981. 3（共著）
10. 「政治－経済モデル」『研究年報』16、神戸商科大学経済研究所、pp. 53-60、1982. 3（単著）
11. 「失業率および物価上昇率の最適水準」『商大論集』34-2、神戸商科大学、pp. 106-114、1982. 10（単著）
12. 「政治的景気循環とフィリップス曲線」『研究年報』17、神戸商科大学経済研究所、pp. 29-47、1983. 3（単著）
13. 「不確実なインフレ期待下の最適失業と賃金上昇率」『商大論集』35-1、神戸商科大学、pp. 87-

- 96、1983. 7 (単著)
14. 「東南アジアの工業化と日本の中小企業」小島 清編『太平洋協力と日豪の関心』第7章、日豪調査委員会、pp. 176-200、1983. 10 (共著)
15. “The Equivalence of Three Controls under Demand Uncertainty,” *Shodai Ronshu* 37-4, Kobe University of Commerce, pp. 105-114, 1985. 7 (単著)
16. 「参入阻止価格の動学分析」『商大論集』38-3/4、神戸商科大学、pp. 198-212、1988. 1 (単著)
17. 「不確実性下の関税と輸入割当－貨幣を含むモデルによる分析－」『商大論集』40-1、神戸商科大学、pp. 103-116、1988. 9 (単著)
18. “On the Optimal Thresholds and Targets for Money Holding under Uncertainty,” *Annals of the School of Business Administration*, No. 33, Kobe University, pp. 15-22, 1989 (共著)
19. 「外国人不法就労と経済厚生」『経済経営研究所年報』40(Ⅱ)、神戸大学、pp. 141-159、1990 (単著)
20. “The Equivalence of Tariffs and Quotas under Flexible Exchange Rates in a Monetary Model,” A. Takayama et al. ed., *Trade, Policy, and International Adjustments*, Academic Press Inc., pp. 222-243, 1991. 2 (単著)
21. “The Friedman-Savage Hypothesis and the Downward Sloping Liquidity Preference Schedule,” *Annals of the School of Business Administration*, No. 35, Kobe University, pp. 49-64, 1991 (共著).
22. 「外国人不法就労と失業および資本移動」『商大論集』42-4/5 (上河泰男教授退任記念号)、神戸商科大学、pp. 193-207、1991. 2 (単著)
23. “A Note on Futures Markets with Small Price and Production Risks,” *International Economic Review* 33-2, pp. 479-486, 1992. 5 (共著)
24. 「多国籍企業の移転価格と最適政策」『商大論集』44-3、神戸商科大学、pp. 29-45、1992. 10 (単著)
25. “Imperfect Competition and the Existence of the General Equilibrium Solution under Intraindustry Trade,” H. Herberg and N. V. Long ed., *Trade, Welfare, and Economic Policies*, University of Michigan Press, pp. 255-265, 1993 (共著)
26. 「利潤分配制度下の外国人労働と国民厚生」『商大論集』45-3、神戸商科大学、pp. 203-217、1993. 12 (単著)
27. “Intra-Industry Trade and Transportation Industry,” *Nagasaki Kenritsu Daigaku Ronshu* 28-1, In Memory of Professor Yasuo Uekawa, Nagasaki Prefectural University, pp. 105-132, 1994. 10 (単著)
28. 「過当競争の理論分析－過剰参入定理と生産補助金政策の考察－」『商大論集』46-4 (風巻義孝

- 教授退任記念号)、神戸商科大学、pp. 47-64、1995. 1 (共著)
29. 「国際生産・輸送体系変化の分析と政策－港湾の変化が及ぼす影響に関する考察－」『応用地域学研究』創刊号、pp. 1-11、1995. 12 (共著)
 30. “Hartwick’s Rule in Small Open Economies under Uncertainty,” Nguyen, D-T. ed., *Queensland, Australia and the Asia-Pacific Economy*, The Econometric Society of Australia (Queensland) Inc., pp. 513-522, 1996. 7 (共著)
 31. 「消費の持続可能性について」『国民経済雑誌』177-3、神戸大学、pp. 51-59、1998. 3 (共著)
 32. “Sustainability in Small Open Economies under Uncertainty,” *Annals of Operations Research* 88, pp. 173-182, 1999 (共著)
 33. “Ranking of Price and Quantity Controls: An Open Economy Case under Uncertainty,” Volume M: *Management, Global and Educational Issues*, ed. by M. Deisler et al., *Computational Economics I*, Pergamon, pp. 15-20, 1999 (共著)
 34. 「再生可能資源経済の持続性」『国民経済雑誌』181-3、神戸大学、pp. 25-34、2000. 3 (共著)
 35. “A Theoretical Analysis of Liner Shipping Conferences and Strategic Alliances,” *Review of Urban and Development Studies* 12-3, pp. 228-249, November 2000 (共著)
 36. “Imperfect Substitutes and Strategic Trade Policies under Cournot Duopoly: Mathematical Note,” *Kobe Economic and Business Review* Vol. 45, pp. 1-13, 2001. 2 (共著)
 37. “Consumption Sustainability in Resource Economies under Price Uncertainty,” *Journal of International Cooperation Studies* 8-3, pp. 67-81, 2001 (共著)
 38. 「不法移民の経済学」『国際経済理論の地平』東洋経済新報社、pp. 75-92、2001. 4 (共著)
 39. 「再生可能資源の持続可能性：効用最大化と利潤最大化」『国民経済雑誌』184-5、神戸大学、pp. 17-29、2001. 11 (共著)
 40. 「戦略的貿易政策：課題と成果」『国民経済雑誌』184-6、神戸大学、pp. 33-41、2001. 12 (共著)
 41. “Imperfect Substitutes and Strategic Trade Policies under Cournot Duopoly,” A. D. Woodland ed., *Economic Theory and International Trade: Essays in Honour of Murray C. Kemp*, Edward Elgar, pp. 192-207, 2001. 6 (共著)
 42. 「再生可能資源と資本蓄積および持続可能性」『国民経済雑誌』188-5, pp. 15-27, 2003. 11 (共著)
 43. 「資源ストックおよび技術不確実性下の再生可能資源と資本蓄積」『商大論集』55-5、管理科学科創立40周年記念号、pp. 163-180、2004. 3 (単著)
 44. “Renewable Resource and Capital Accumulation under Uncertainty,” *Review of Urban and Regional Development Studies* 17-1, pp. 18-34, 2005. 3 (単著)
 45. “Common Property Resource and Private Capital Accumulation with Random Jump”, R. F.

- Hartl and C. Deissenberg ed., *Optimal Control and Dynamic Games: Applications in Finance, Management Science and Economics*, Springer-Verlag, pp. 74-84, 2005. 6 (共著)
46. 「資源経済の持続可能性とその確率について」『国民経済雑誌』195巻4号、pp. 29-37、2007. 4 (共著)
47. “Efficiency in International Trade with Firm Heterogeneity and Networks,” *Review of Development Economics* 11-2, pp. 217-231, 2007. 5 (共著)
48. “Sustainability or Ruin of a Common Resource Economy with Random Jumps,” *Review of Development Economics* 11-2, pp. 390-403, 2007. 5 (共著)
49. 「共有資源および社会資本と最適消費経路」『国民経済雑誌』203巻6号、pp. 1-12、2011. 6 (共著)
50. “Status-Seeking and Exhaustible Resource under Uncertainty,” *International Journal of Development and Conflict* 1-3, pp. 399-417, 2011 (共著)
51. 「国際合併事業におけるナッシュ交渉と最適課税政策」『国民経済雑誌』207巻3号、pp. 1-14、2013. 3 (単著)
52. “Carbon Taxes and Comparison of Trading Regimes in Fossil Fuels,” E. Moser, W. Semmler, G. Tragler and V. M. Veliov (ed.), *Dynamic Optimization in Environmental Economics*, Springer-Verlag, pp. 287-314, 2014 (共著)
53. 「排出量規制と最適生産量の動学分析」『国民経済雑誌』211巻2号、pp. 1-15、2015. 2 (単著)

翻訳

1. M. C. ケンプ著『国際貿易と投資の純粋理論』日本評論社、1981. 9 (共訳)
2. W. J. イーシア著『現代国際経済学』国際マクロ、多賀出版、1992. 3 (共訳)
3. W. J. イーシア著『現代国際経済学』国際貿易、多賀出版、1992. 10 (共訳)
4. カー・ユー・ウォン著『現代国際貿易論』多賀出版、1999 (共訳)

書評

1. 近藤健児、多和田眞、松葉敬文『労働者管理企業と労働移動の経済学』中京大学附属経済研究所、v+p. 107、2002年、『地域学研究』日本地域学会、Vol. 33、2003. 3
2. 市村眞一監修・土井正幸編著『港湾と地域の経済学』多賀出版、xxi+p. 429、2003年、「理論と実証に基づく最新鋭の分析」『経済セミナー』No. 590、p. 107、2004. 3
3. 安藤洋美『社会人と大学生のための数学精義』現代数学社、2005年、『理系への数学』2005年11月号

その他

1. 「不確実性下の国際貿易理論」『経済セミナー』No. 326、日本評論社、pp. 34-39、1982. 3
2. 「人口減少の要因」調査報告、尼崎市、1982. 3
3. 「アメニティーの経済分析」調査報告、尼崎市、1983. 3
4. 「上河泰男教授の人と学問」『商大論集』42-4/5（上河泰男教授退任記念号）、神戸商科大学、pp. 209-223、1991. 2
5. 「中日美汽車工業組織結構及其比較」『亜太経済』No. 43、福建社会科学院亜太経済研究所、pp. 52-56、1992. 2（共著）
6. 「国際経済自由化進展に伴う交通市場における介入・競争の一般均衡分析と政策提言」文部省科学研究費補助金研究成果報告書、1998. 3
7. 「通貨危機モデル」平成12年度学術フロンティア・プロジェクト「国際金融革命と法」国際資本移動・電子商取引研究班研究成果報告書、文部科学省・私立大学学術フロンティア推進拠点、関西大学法学研究所、2001. 3
8. 「資源経済の持続可能性を保障する最適投資ルールと効率性および公平性」文部科学省平成12年度～平成13年度科学研究費補助金（基盤研究（c）（2））研究成果報告書（研究代表者：太田博史）、2002. 3
9. 「通貨危機の原因と教訓」平成13年度学術フロンティア・プロジェクト「国際金融革命と法」国際資本移動・電子商取引研究班研究成果報告書、文部科学省・私立大学学術フロンティア推進拠点、関西大学法学研究所、2002. 3
10. 「開発ミクロ経済学」『経済学研究のために』第8版、神戸大学経済経営学会、pp. 324-329、2002. 4
11. 「資本移動が都市インフォーマル・セクターにおよぼす影響について」平成14年度学術フロンティア・プロジェクト「国際金融革命と法」国際資本移動・電子商取引研究班研究成果報告書、文部科学省・私立大学学術フロンティア推進拠点、関西大学法学研究所、pp. 21-26、2003. 3
12. 「資本移動と国際課税」平成15年度学術フロンティア・プロジェクト「国際金融と法」国際資本移動・電子商取引研究班研究成果報告書、文部科学省・私立大学学術フロンティア推進拠点、関西大学法学研究所、pp. 15-18、2004. 3
13. 「人材育成による国際貢献～ラオスおよびイエメンにおける開発援助～」『21世紀文明の創造』調査研究事業 第4部会研究報告書 21世紀文明研究委員会、(財)阪神・淡路大震災記念協会、pp. 77-106、2005. 12
14. 「南北貿易における資源環境政策と動学的貿易利益の研究」文部科学省平成16年度～平成18年度科学研究費補助金（基盤研究（C））研究成果報告書（研究代表者：太田博史）、2007. 5

15. 「企業規模と企業数の変動法則について」文部科学省平成19年度～平成21年度科学研究費補助金（基盤研究（B））研究成果報告書（研究代表者：金子由芳）pp. 38-54、2010. 6

その他の活動

1. コーディネーター：兵庫県海外・東京事務所長会議「国際経済交流における海外事務所の役割－外資系企業誘致に向けて－」ひょうご国際プラザ 交流ホール、2000. 10. 3
2. コースリーダー：JICA 平成14年度第7回国別特設海外貿易振興政策（東欧）研修コース、2001. 2. 4～3. 2
3. 提案策定者：「人間の安全保障に関する兵庫アクションプログラム」汎太平洋フォーラム創立20周年記念事業、国際シンポジウム「人間の安全保障の世紀」社会開発分科会
4. 業務主任：JICA ラオス国立大学経済経営学部支援プロジェクト、2004. 12. 20～2006. 9. 20
5. 講師：ラオス政府職員に対する公共政策トレーニングプログラム、2009. 4. 2, 4. 21～8. 11, 12
6. 遠隔講義：“Current Issues in ASEAN Integration,” (GSICS to Lao Japan Institute), 2010. 6. 4
(2015年2月28日現在)